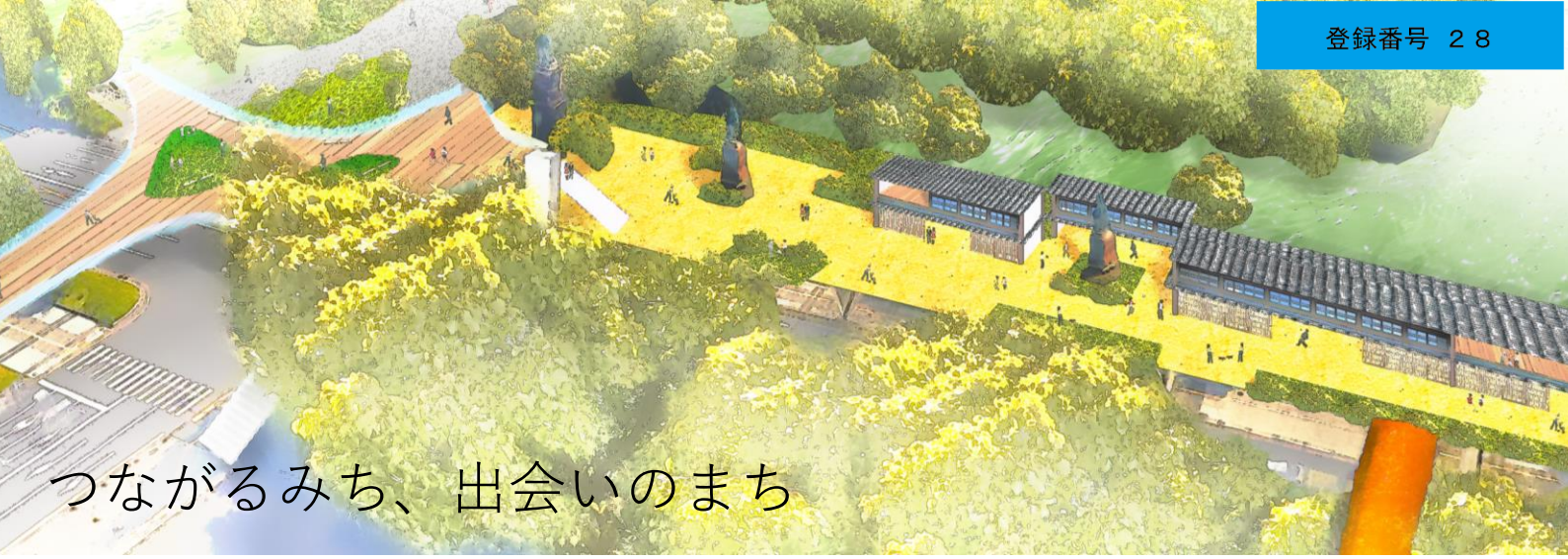


つながるみち、出会いのまち

概要調書

■敷地の捉え方：千代田区の中心を担う公園

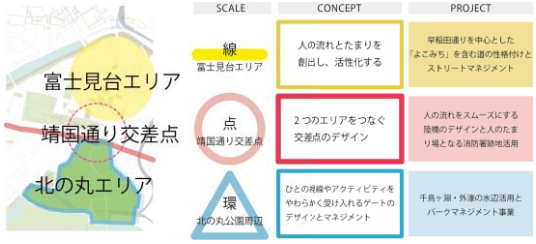
北の丸公園は都心におけるグリーンインフラを支える存在であり、またな地域に面しているため公園機能として中心的存在であるといえる。観光客や住民、近隣で働く人々など、多様な属性の人々の受け皿となるような場所になりうる。

■課題：地域資源を活用しきれていない、回遊性の低さ

飯田橋エリア、北の丸公園周辺には、歴史的資源や豊かな自然環境といった資源が多く点在しているが、それらは現在ネットワーク化されておらず、地域資源を感じにくい・見つけにくい状態であり地域全体の回遊性はそれほど高くない。

■提案方針

それぞれのエリアが多彩な周辺資源と連動しながら、回遊性を高め地域と地域をつなげるような、様々な人々の活動をゆるやかに受け止める都市空間の構築を目指す。その中では、ハード整備と並行して、人々がまちを使い、まちで自らやコミュニティを育めるようなソフト整備も含めた暮らしやすい都市づくりを進める。



■PROJECT 001：

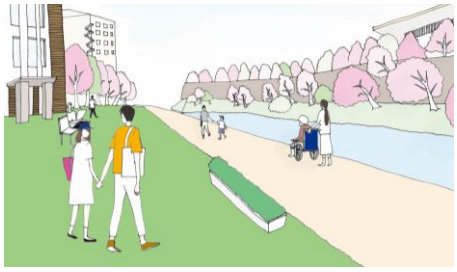
田安門前交差点整備による地域間の連続性創出

靖国通りで分断されている富士見台地区と北の丸公園地区を結ぶエリアを再整備する。区立九段坂公園、現在未利用地の消防署跡地を一体的に整備した人の居場所として観光インフォメーションセンター、カフェ・学習ラウンジ、ラン・サイクリングステーションを整備する。

■PROJECT 002：富士見台地区「みちまち」マネジメント

北の丸公園周辺と飯田橋駅への結ぶ軸となる早稲田通りの魅力向上と早稲田通りに接続する性格の異なる「よこみち」の整備によって観光客や日常的な周辺利用者にとっての魅力を高める。

■PROJECT 003：水辺＋緑道の有効活用による北の丸公園周辺のゲート性・回遊性づくり



公園外周から内部への誘引力向上と外周部分の観光客や日常的な周辺利用者にとっての魅力を高めることを目的として、公園の新たなゲートづくり、牛ヶ淵に親水デッキを設けるなどの公園外周部分の歩いて楽しい歩行者空間づくりを行う。